

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
1	地球温暖化対策条例の改正及び新地球温暖化対策計画の策定	平成23年4月からの施行に向け、「地球温暖化対策推進委員会」において審議中。運輸部門(自動車, 鉄道)からの温室効果ガス削減については、「歩くまち京都」総合交通戦略を踏まえ, 条例改正, 新計画策定の中で, 公共交通機関の利用促進につながる取組を推進する。					まちづくり計画策定等	環境政策局
			参加・利用者数(人/年間)					
			1,000 (周知資料配布数)	1,000 (周知資料配布数)	1,000 (周知資料配布数)	1,000 (周知資料配布数)		
2	「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスによる普及啓発	市バスに「DO YOU KYOTO?」のラッピングを行い, 市民や国内外の観光客が目にする事で, 「DO YOU KYOTO?」を合言葉とする環境にやさしい取組の普及啓発を行うとともに, 市バス・地下鉄など公共交通機関の利用を促進する。(7台のバスをラッピング予定)	ラッピングバスの施工	ラッピングバスによる普及啓発	24年度以降は未定		広報・PR 乗車券販売・広告 収入等	環境政策局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
3	「DO YOU KYOTO?デー」における「ノーマイカーデー」の取組	引き続き, 企業・学校・団体等に対して, 毎月16日の「DO YOU KYOTO?デー」における「ノーマイカーデー(通勤などでマイカーを使わない日)」の取組を呼び掛け, 公共交通機関の利用を促進する。	ノーマイカーデーの取組の推進				公共交通への転換	環境政策局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

4	バスと電車でecoグルメ! ＜新規＞	「京都市内の路線で使える乗り放題乗車券」や「スルットKANSAI」等の当日利用を提示することで、協力飲食店における各種サービスを受けることができるキャンペーンを実施することにより、公共交通機関の利用を促し、環境調和型観光の実現を目指す。	→	23年度以降は未定		公共交通への転換	環境政策局	
			参加・利用者数(人/年間)					
			参加店舗 延べ68店舗/年 (年2回実施)					
5	電気自動車のカーシェアリング(共同利用)	次世代自動車の普及と効率的な利用を進めるため、公用車EVを活用。22年度は利用日・台数・貸出拠点を拡大し、更なる充実を図る。	→	23年度以降は未定		公共交通への転換	環境政策局	
			参加・利用者数(人/年間)					
			3,000人 (最大)	—	—			—
6	友・遊・美化パスポート事業	市内の観光地や繁華街を散策しながら清掃活動を実施する。集合場所を地下鉄駅、バス停に設定し、月2～3回(年間約25回)実施予定。	取組の推進	→		イベント	環境政策局	
			参加・利用者数(人/年間)					
			約2,000 (参加者数)	約2,000 (参加者数)	約2,000 (参加者数)			約2,000 (参加者数)

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

7	世界の京都・まちの 美化市民総行動	市民、事業者、行政との協働により、門掃き、ごみのポイ捨て禁止等の呼び掛け、不法投棄、放置自転車、違法駐車、違法広告物等のまちの美観を損なうものの一掃に向けた美化活動を実施する。 ・22年6月6日(実施予定) 四条河原町交差点界わいを予定 ・22年7月10日、14日～16日(実施予定) 祇園祭「山鉾町」、鴨川河川敷～京都市役所前広場を予定(14日～16日については祇園祭「山鉾町」) ・22年11月7日(実施予定) 京都市役所前広場～市街地主要街路を予定	取組の推進				イベント	環境政策局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約4,000 (参加者数)	約4,000 (参加者数)	約4,000 (参加者数)	約4,000 (参加者数)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
8	市庁舎前広場等の活用	<p>市庁舎前広場においてイベントを行う場合に、資材の貸出し等の協力やパネル展示による広報・PR用の場所として本庁舎正面玄関内の一部を使用承認することで、より一層の地下鉄・市バス利用者の増加を図る。</p> <p>また、市庁舎前広場の使用承認を行う際に、主催者に対して、イベント参加者等に公共交通機関を使用するよう周知することを依頼する。</p>	イベント開催等				広報・PR イベント	行財政局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約200,000人	約200,000人	約200,000人	約200,000人		
9	京都市健康保険組合「歩こう会」のスタート地点又はゴール地点	<p>年2回(4月、10月)実施している京都市健康保険組合「歩こう会」のスタート地点、ゴール地点について、可能な限り地下鉄駅付近に設定する。</p>	会の運営、イベントの開催等 4/18開催 10/24開催				職員等利用	行財政局
			参加・利用者数(人/年間)					
			4/18 451名 10/24 1022名 (参加者数)					
10	記念品等としてのトラフィカ京カード等の利用	<p>職員提案制度の表彰の際などに交付する記念品等については、特段の事情がない限り、トラフィカ京カードなど交通局が発行するものとする。</p>	21年度から継続実施				乗車券販売・広告収入等	行財政局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約30名	約30名	約30名	約30名		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

11	市バス・地下鉄の利用促進の局内周知	局課長会等の定期的に行われる局内会議で、適宜、総務課から職員に対して、市バス・地下鉄を利用するよう協力を依頼する。	取組の推進				職員等利用	行財政局
			参加・利用者数(人/年間)					
			842名 (行財政局職員数)	約842名 (行財政局職員数)	約842名 (行財政局職員数)	約842名 (行財政局職員数)		
12	地下鉄北山駅における京都市立芸術大学生の作品展示<新規>	交通局、芸術大学、財団法人京都市音楽芸術文化振興財団が共同し、京都コンサートホールの最寄り駅である地下鉄北山駅で、芸術大学生が制作した音楽をテーマとした作品の発表を通じて、地下鉄駅の賑わいを創出する。	イベント開催等				広報・PR イベント	行財政局
			参加・利用者数(人/年間)					
			※学生31名 (31作品)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
13	各種イベントにおける地下鉄・市バス利用の促進	各種イベントの開催に当たり、会場をできる限り地下鉄・市バス沿線に設定するとともに、広報資料やチラシ等で地下鉄・市バスでの来場を呼び掛けるなど、参加者の地下鉄・市バス利用を促進する。	取組の推進			→	広報・PR イベント	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
14	所管施設におけるPR	局が所管する施設(大学のまち交流センター、国際交流会館)の周知・広報に当たり、地下鉄・市バスでのアクセスが便利であることをPRし、来館者の地下鉄・市バス利用を促進する。  大学のまち交流センター1階を、学生の活動・交流・連携の拠点(学生Place+(学生の活動拠点))としてリニューアルして、利用者により一層の地下鉄・市バスでの来場を呼び掛ける。	取組の推進			→	施設の整備・誘致 広報・PR	総合企画局
			学生の活動拠点 (6月13日オープン)					
			参加・利用者数(人/年間)					
—	—	—	—					
15	外郭団体への働き掛け	所管する外郭団体に対して、事業実施に当たっては地下鉄・市バス利用を促進するよう働き掛ける。	取組の推進			→	職員等利用	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

16	市民しんぶん等による情報発信	市民しんぶんをはじめとする各種市政広報において、適宜、地下鉄・市バスの情報を発信する。	取組の推進				→	広報・PR	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
17	繊維技術センター跡地の同志社大学への売却調整	22年10月に移転する繊維技術センター跡地を今出川キャンパスの再整備を計画する同志社大学に22年度中に売却するよう調整を行う。 同志社大学では、同計画により、約9,000人(21年度1,000人、25年度8,000人)の学生数の増員を計画しており、それに併せて、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	取組の推進					施設の整備・誘致	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			約1,000	約1,000	約1,000	約9,000			
18	岡崎地域活性化ビジョン(仮称)の策定及び活性化の推進(岡崎ポータルサイトの開設を含む)	岡崎地域の優れた都市景観を将来へ保存再生しながら、世界に冠たる文化・交流ゾーンとしての機能を一層発揮するとともに、更なる賑わいを創出するため、市民、有識者、地元、各界関係者で構成する検討委員会及び庁内関係局部長級からなるプロジェクトチームを設置し、「岡崎地域活性化ビジョン」を策定する。 策定に当たっては、岡崎地域が、地下鉄東西線蹴上駅、東山駅から徒歩圏にあることから、地下鉄駅から周辺地域を巻き込んだ魅力的なまちづくりに向け、地下鉄・市バス増客、歩くまち京都の推進等を視野に入れた検討を進める。	岡崎地域活性化ビジョン(仮称)の策定	ビジョンに基づく各具体事業の推進			→	まちづくり計画策定等 広報・PR	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			延べ訪問者数 500万人(現状)						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

19	山ノ内浄水場の跡地利用の検討	24年度末で用途廃止となる「山ノ内浄水場」跡地の有効利用の方策について、有識者等で構成する山ノ内浄水場跡地活用方針検討委員会において、地下鉄のアクセス機能を最大限に生かし、地下鉄増客に資する活用とする観点で踏まえ、検討を進める。	跡地活用方針の策定		浄水場の用途廃止		施設の整備・誘致	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
20	「京都市未来まちづくり100人委員会」	京都の未来のまちづくりについて、白紙の段階から、市民が主体的に議論し、提言するだけでなく、行動する市民組織において、地下鉄・市バス等の公共交通が市民や観光客にとって、より使いやすくなる方策について議論し、具体的な取組の実施を図る。	取組の推進				その他	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
21	国際交流会館オープンデー・京都市平和祈念事業<新規>	京都に暮らす外国人の存在を市民の方により身近に感じていただくとともに、異文化理解、多文化共生の促進を通じて世界平和の実現につなげることを目的として、国際交流会館で開催する本事業において、来場者への地下鉄利用の呼び掛け、地下鉄駅・車内への広告掲出、会場での地下鉄・市バスのPRなどを行う。	取組の推進				広報・PRイベント	総合企画局
			参加・利用者数(人/年間)					
			14,000	14,000	14,000	14,000		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

22	記念品等としての一日乗車券等の利用	各種事業において交付する記念品等については、可能な限り、一日乗車券やトラフィカ京カードなど、交通局が発行するものを利用する。					乗車券販売・広告収入等	総合企画局	
			取組の推進						→
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
23	職員の利用促進	職員に対し地下鉄・市バスの利用を働き掛けるなど、利用促進に努める。					職員等利用	総合企画局	
			取組の推進						→
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
24	男女共同参画センター ウィングス京都における各種イベント	イベントのチラシ等に, 公共交通機関での来館を呼びかける。	イベントの開催 ウィングス フォーラム2010 12月11日【土】 参加予定者240名 ・その他講座等 随時開催					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			40,000	40,000	40,000	40,000			
25	日本女性会議2010きょうと【臨時】	募集案内等に, 公共交通機関での来場を呼びかけた。	イベントの開催  <開催日> 10月1日【金】 分科会・交流会 10月2日【土】 開会式・基調報告・記念講演 パネルディスカッション・閉会式・エクスカーション 10月3日【日】 エクスカーション	—	—	—		広報・PR イベント	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			6,000	0	0	0			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

26	ヒューマンステージ・イン・キョウト	イベント開催の来場について、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			900 (参加者数)	900 (参加者数)	900 (参加者数)	900 (参加者数)			
27	ツラッティ千本特別展・企画展	イベント開催の来場について、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			700 (参加者数)	700 (参加者数)	700 (参加者数)	700 (参加者数)			
28	柳原銀行記念資料館特別展・企画展	イベント開催の来場について、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			700 (参加者数)	700 (参加者数)	700 (参加者数)	700 (参加者数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

29	トラフィカ京カード販売 動物園シリーズ 美術館シリーズ	「動物園シリーズ」に画像提供。園内ショップでも販売予定。年4回発売予定。 「美術館シリーズ」として、所蔵品をデザインしたカード2種類を販売。その他、期間限定でボストン美術館展とタイアップし、カードを販売。いずれも美術館でも販売中。	取組の推進					乗車券販売・広告収入等	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
30	動物園デジタルサイネージ(ディスプレイに映像や情報を表示するシステム)の整備	21年度総務省より「ユビキタスタウン構想推進事業(地域ICT利活用推進交付金)」の交付金を受け、その一部で地下鉄駅にデジタルサイネージを設置。設置駅未定。 →地下鉄京都駅 京都市交通局のPRにも活用	22年7月末を目途に設置予定。 →8/11から実施					イベント	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
31	市営地下鉄構内での文化市民局関連施設紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物園月間イベント案内ポスター掲示(13駅)</li> <li>イベントポスターの掲示(全駅)</li> <li>チラシの配布(全駅)</li> <li>蹴上駅での京都市動物園PRパネルの展示</li> <li>・二条城「お城まつり」「ライトアップ」などのイベント開催ポスターを地下鉄各駅構内に掲示し、地下鉄等の利用促進</li> <li>・東山駅に京都市美術館の展覧会案内板を設置</li> <li>・海外展(ボストン美術館展)開催ポスターを地下鉄各駅構内に掲示し、地下鉄等の利用促進</li> </ul>	取組の推進					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

32	文化施設へのアクセス紹介	文化施設のポスター、ホームページ、問合せにおいて、地下鉄及び市バスの案内を行う。	取組の推進					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
33	動物園前バス停に係る臨時バス運行	春・秋の観光シーズンにおける、「動物園前」停車系統の臨時バス運行について、交通局と協議していく	今後、交通局に依頼					臨時バスの運行	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
34	文化施設入場料減免	「市営地下鉄1dayフリーチケット」提示による入場料減額(動物園:団体入園料の適用。「市バス専用一日乗車券」については調整協議中。二条城は「市営地下鉄1dayフリーチケット」提示により、入城料を通常料金から100円割り引く。京都市美術館:主催展において団体割引観覧料適用)	取組の推進					特典付与	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			5000 (1dayチケット利用の入城者)	5000 (1dayチケット利用の入城者)	5000 (1dayチケット利用の入城者)	5000 (1dayチケット利用の入城者)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

35	元離宮二条城出口に市営地下鉄二条城前駅への進路案内板を設置	元離宮二条城出口に地下鉄二条城前駅への進路案内板を常時設置					広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
36	西京極総合運動公園の集客事業による市バス・地下鉄増客対策(京都サンガF.C.、京都ハンナリーズ及び京都アストドリームスのホームゲームの他プロゲームの誘致等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時バスの運行(サンガ:ホームゲーム終了時間帯に「西京極運動公園前」停留所と①東西線「太秦天神川駅」間②烏丸線「京都駅」に臨時バスの運行, ハンナリーズ:試合開始時刻に合わせ烏丸線「京都」と「西京極運動公園前」停留所に臨時バスの運行)</li> <li>・トラフィカ京カード販売(サンガ, ハンナリーズ, アストドリームスについて, カードを発行(アストドリームスは予定)。このカードを利用して, 試合当日に市バス・地下鉄に乗りこすることで, 優待価格で観戦できる。)</li> <li>・地下鉄・市バスの利用促進を伴ったスタンプラリーの実施(プロスポーツ3チームのうち1試合を観ると次の試合(1試合目とは別チーム)が半額になり, さらに3試合目(1, 2試合目とは別チーム)については, 無料となるスタンプラリーを実施する。また, 3試合目の観戦時に受付窓口でトラフィカ京カード(観戦当日に使用された日付入りのもの)又は京都府OSAKA PiTaPaカードを提示すると, 3試合目観戦のチームから記念品がプレゼントされる。)</li> <li>・周回路線の新設(「西京極運動公園前」停留所と東西線「太秦天神川駅」, 烏丸線「五条駅」及び「烏丸御池駅」を周回する路線を新設)</li> <li>・財団法人京都市体育協会 広報誌「ダッシュ」での集客呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時バスの運行</li> <li>・トラフィカ発行</li> <li>・スタンプラリー実施</li> <li>・周回路線新設検討</li> <li>・ダッシュでの集客呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時バスの運行</li> <li>・トラフィカ発行</li> <li>・スタンプラリー実施</li> <li>・ダッシュでの集客呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時バスの運行</li> <li>・トラフィカ発行</li> <li>・スタンプラリー実施</li> <li>・ダッシュでの集客呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時バスの運行</li> <li>・トラフィカ発行</li> <li>・スタンプラリー実施</li> <li>・ダッシュでの集客呼びかけ</li> </ul>	イベント	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約30万人 (サンガ 20万人(20試合@1万人), ハンナリーズ5万人(20試合@2500人), アストドリームス5万人(20試合@2500人))	約30万人 (サンガ 20万人(20試合@1万人), ハンナリーズ5万人(20試合@2500人), アストドリームス5万人(20試合@2500人))	約30万人 (サンガ 20万人(20試合@1万人), ハンナリーズ5万人(20試合@2500人), アストドリームス5万人(20試合@2500人))	約30万人 (サンガ 20万人(20試合@1万人), ハンナリーズ5万人(20試合@2500人), アストドリームス5万人(20試合@2500人))		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

37	京都ツデーウォーク【臨時】	全国各地からウォーカーの参加を募り、ウォーキングを通じて心と身体の健康づくりのきっかけを提供するとともに、魅力と活力あふれるまち・京都を広く発信していくことを目的として、都大路を歩くウォーカーの祭典を2日間にわたり開催する。	事業の開催 (平成23年3月5日, 6日開催)				イベント	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			延べ5,000人					
38	第26回国民文化祭・京都2011(事業実施)	地下鉄駅近くの下記の会場にて国民文化祭の各種事業を実施することにより、地下鉄の増客・増収に寄与する。 ①京都会館:全国吟詠剣詩舞道祭, 吹奏楽の祭典, 邦楽の祭典及び閉会式※ ②京都コンサートホール:合唱の祭典及びジュニアオーケストラの祭典 ③美術館:美術展(日本画, 洋画, 書, 彫刻) ④京都国際会館:開会式※ ⑤京都観世会館:能楽の祭典 ⑥金剛能楽堂:能楽の祭典 ⑦マンガミュージアム:マンガアートフェスティバル ⑧芸術センター:京の暮らしの文化展 ※については京都府が実施		→			イベント	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	約45,000 (出演者・観客)				
39	第26回国民文化祭・京都2011(ラッピングバス)	国民文化祭をイメージさせるデザインをラッピングした市バスを走らせることにより、市民等に国民文化祭の周知を図る。(1台配置予定)	○デザイン決定 ○走行	→			広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—				

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

40	第26回国民文化祭・京都2011(トラフィカ京カード等の発行)	国民文化祭のPRのためまゆまる等を印刷したトラフィカ京カード等の発行を検討する。					広報・PR	文化市民局
				○発行(検討中)				
			参加・利用者数(人/年間)					
			-	-				
41	市民ふれあいステージ	イベントの開催に当たり、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。また、当日の会場内においてPRブースを設け、来場者に対して啓発を行う。(平成22年度は10月16・17日に梅小路公園で)	事業の実施				イベント	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			40,000人(2日間) (10月16・17日に梅小路公園)	40,000人(2日間)	40,000人(2日間)	40,000人(2日間)		
42	京都芸術センター事業	施設におけるイベントの開催に当たり、ポスター、チラシ等において市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	事業の実施				広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約60,000人(年間)	約60,000人(年間)	約60,000人(年間)	約60,000人(年間)		
43	美術館事業<新規>	美術館主催・共催の展覧会で交通案内を実施し、地下鉄や市バスの利用促進に努めている。(広報チラシ、案内人両面)	事業の実施				広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)					
			-	-	-	-		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

44	京都ミュージアムズ・フォー(京都市内4館連携協力協議会) <新規>	展覧会スケジュール等の印刷物で最寄りの公共交通機関の案内を実施し、地下鉄や市バスの利用促進に努めている。(4館は市美術館の他、国立博物館・国立近代美術館・文化博物館)	事業の実施				→	広報・PR	文化市民局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
45	寺院の写真や書をデザインしたトラフィカ京カードの発行	京都仏教会の協力の下、寺院の写真や書をデザインしたトラフィカ京カードをシリーズで発行する。 ・平成22年4月 「金閣寺」, 「銀閣寺」 各2枚組 発行 ・平成22年10月 「清水寺」2枚組 発行 ・平成22年冬以降 順次発行予定	・トラフィカ京カードの発行 ・平成22年4月 「金閣寺」, 「銀閣寺」 各2枚組 発行 ・平成22年10月 「清水寺」2枚組 発行 ・平成22年冬以降 順次発行予定				乗車券販売・広告収入等	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
46	「修学旅行1dayチケット」のPRと発売	修学旅行誘致と市バス・地下鉄の新規旅客を一体的に行うことを目的に多彩な優待内容を満載した「修学旅行パスポート」機能を合わせた修学旅行専用の同チケット販売促進に向けたPRを行う。	販売促進のPR				乗車券販売・広告収入等	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

47	京都コンベンションパスの発行	京都で開催されるコンベンション参加者を対象に、地下鉄・市バスが乗り放題となる格安一日乗車券を発行、斡旋。(最低購入枚数100枚)	販売促進のPR				乗車券販売・広告収入等	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
48	京都館での市バス・地下鉄乗車券の販売	首都圏における京都情報の受発信拠点である京都館において、市バス・地下鉄の乗車券を販売し、観光客の市バス・地下鉄の利用を促進する。 ・京都観光一日乗車券 ・京都観光二日乗車券 ・市バス専用一日乗車券カード ・市営地下鉄1dayフリーチケット	取組の推進				広報・PR 乗車券販売・広告収入等	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
49	「歩いて楽しい観光」推進のための観光案内標識の整備	駅や観光地への方向や距離を示した案内標識の整備を進める。実施に際しては、区ごとに検討委員会を設置し、整備を進める。平成20～22年度の3年間で10区(18年度にモデル実施した東山区を除く)にモデル地区を設定して実施予定。	・上京区, 中京区, 西京区, 伏見区で実施 ⇒事業完了				施設の整備・誘致	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

50	「歩いて楽しいまち・京都」観光案内標識アップグレードプロジェクト	観光客の視点に立った分かりやすい観光案内標識の在り方について、関係局からなるプロジェクトチームを設置するとともに、学識者や交通事業者等からなる「観光案内標識アップグレード検討委員会」を設置し、モデル地域における整備の有効性の検証を行いながら、ガイドラインの策定とその活用方策を検討する。	・ガイドラインの策定 ・モデル地域における有効性の検証	・ガイドラインに基いた整備		→	施設の整備・誘致	産業観光局(事務局) 総合企画局, 文化市民局, 保健福祉局, 都市計画局, 建設局, 消防局, 交通局, 教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)					
51	宇多野ユースホテルとの連携による市バス・地下鉄増客	年間3万人以上が利用する宇多野ユースホテルにおいて、公共交通を利用した観光コースの提案や乗車券等の販売強化等により、宿泊者や集会室等利用者に市バス・地下鉄の利用を呼びかける。	・トラフィカ京カード等の販売 ・公共交通を利用した観光コースの提案			→	広報・PR	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
52	「SHO-TEN-GAI!!!」ガイドブック作成事業	各商店街紹介箇所にも市バス・地下鉄の利用経路を記載したガイドブック(きょうは買い物日和, 50,000部)を市内外において配布し、公共交通機関の利用促進を図る。 ※同時に外国語版(10,000部)も配布する。	ガイドブックの配布			→	広報・PR	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
			60000人(ガイドブック配布数)	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

53	観光客を対象とした公共交通機関の利用促進	16団体で構成する「公共交通機関でおこしやす・京都市協議会」で春秋の観光シーズン前に、近畿、山陽及び中部地方等の主要駅等において、公共交通機関を利用した観光客誘致のためのキャンペーン活動を展開。	・春秋の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開				→	公共交通への転換	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)						
54	きものでおでかけ乗車無料 (「伝統産業の日」事業として実施)	「伝統産業の日」事業の一環として、きもの着用者を対象に、市バスと地下鉄の運賃を無料にする。	取組の推進				→	特典付与	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)						
			20,000	20,000	20,000	20,000			
55	京の旬野菜「時待ち食」キャンペーンの実施	認定農家が生産した地場の旬野菜即売しながら、旬の時期を待って食する京都の伝統的な調理方法や食べ方を推進する『京の旬野菜「時待ち食」事業』のキャンペーンを地下鉄駅構内で実施する。 実施駅:東野駅, 二条城前駅, 太秦天神川駅	地下鉄駅構内での野菜直売及び啓発活動の実施 (4/22から実施)	地下鉄駅構内での野菜直売			→	イベント	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)						
			8万人(来客数)	8万人(来客数)	8万人(来客数)	8万人(来客数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

56	京のこだわり旬野菜直売所の開設	「旬の時期に旬のものを、地域のものを地域で食する」食生活スタイルを推進し、市内産野菜の消費拡大を図るため、「京のこだわり旬野菜直売所」をゼスト御池に開設する。	地下鉄駅と直結した地下街「ゼスト御池」に市内産野菜の直売所を開設する。 (4/1から実施)					イベント	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)						
			4万人(来客数)	4万人(来客数)	4万人(来客数)	4万人(来客数)			
57	KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience)	京都が持つ、マンガ・アニメ、映画・映像、ゲーム等のコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、これらのコンテンツ産業を支える人材育成・人材交流を図ることを目的としたイベントを実施する。	取組の推進	※23年度以降の実施については予算要求の状況による				イベント	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)						
			目標8万人						
58	ミートフェアにおける臨時シャトルバスの運行	開催に当たり、市場内敷地では十分な駐車スペースの確保が困難であり、近隣の敷地を臨時駐車場として活用。臨時駐車場と会場を接続するバス路線の運行により、来場者の無料送迎を実施。  ※駐車場確保が困難なため、22年度以降、バスによる送迎を取り止め。	ミートフェアの開催					イベント 臨時バスの運行	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)						
			750人	750人	750人	750人			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

59	京の七夕 ＜新規＞	「願い」をテーマに、京都ならではの七夕にちなんだ「京の七夕」を京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会等のオール京都体制で実施。京都の新たな夏の風物詩として、京都観光、和装をはじめとする伝統産業の振興を図る。	事業の実施 開催期間：平成 22年8月6日～ 15日 ※点灯19時～ 21時30 来場者数： 703,000人				イベント	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
60	ものづくりフェアにおける公共交通機関の利用促進 ＜新規＞	約3,000枚のリーフレット及び約350枚のポスターを発行のうえ関係機関に配布し、フェアの案内とともに、公共交通機関の利用を呼び掛けている。	ものづくりフェアの開催(23年度以降のフェアの開催は未定)				イベント、 広報・PR	産業観光局
			参加・利用者数(人/年間)					
			3万人(来客数)	3万人(来客数)	3万人(来客数)	3万人(来客数)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
61	健康ウォーキング推進事業～笑って湯ったり健康ウォーキング～【臨時】	京都未来まちづくりプランに掲げる「健康で笑顔の市民づくり」及び政策の融合モデル「歩いて楽しいまち」の推進を図るため、地下鉄の駅等を起点とする1時間程度のウォーキングの後、銭湯で寄席を楽しみ、汗を流せる「笑って湯ったり健康ウォーキング」を休日に市内各所で実施し、心身のリフレッシュと参加者同士の交流を深める。 平成21・22年度の2箇年事業	→ 各区1箇所 全市11回				イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)					
			参加者数(見込) 330人					
62	敬老乗車証制度の普及啓発	70歳以上の市民を対象に市バス・地下鉄に乗車できる敬老乗車証を交付。積極的な普及啓発を行い、交付率の向上に努める。	→ 積極的な普及 啓発の実施				その他	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
63	若杉祭	地域とともに歩み地域に根ざした若杉学園を目指して、学園内において学園紹介・遊びコーナー等を「親の会」と共催で実施し、若杉学園周辺の地域住民と交流を図ることにより、障害のある方の理解を深めるという行事であり、毎年1回開催している。	→ 取組の推進 (10月16日)				イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約200人					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

64	本市開催の大都市会議や行政視察における交通局カード乗車券の活用	大都市会議の本市開催時や行政視察等の際に活用するため、積極的に交通局カード乗車券を購入し、配布する予定。22年6月に、大都市民生主管局長会議を開催予定(約60名出席)。※実績:大都市民生主管局長会議(平成22年6月3日、4日開催)で約60名に交通局カードを配布した。					乗車券販売・広告収入等	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約60名					
65	市民すこやかフェア	・市民が気軽に参加できる催しを通じて、長寿社会を考える機会を提供することを目的に開催する高齢者総合福祉イベント ・チラシ、ポスターに地下鉄最寄駅名を記載					イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)					
			20,000 (参加者数)	20,000 (参加者数)	20,000 (参加者数)	20,000 (参加者数)		
66	京都市子ども動物愛護講座	地域や家庭における動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発をはかるため、市内の小学校5、6年生を対に、毎年1回夏休みに、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。					イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)					
			30 (参加者数)	30 (参加者数)	30 (参加者数)	30 (参加者数)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

67	京都市動物愛護フェスティバル	動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発をはかるため、毎年9月20日から同月26日までの動物愛護週間に1日、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	フェスティバルの開催 (9月23日)				→	イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			300 (参加者数)	300 (参加者数)	300 (参加者数)	300 (参加者数)			
68	犬のしつけ方教室 (ガイダンスセミナー講座)	人と動物が共存できる生活環境を確保するための啓発事業として、犬の飼い主に対し、犬の習性・生理などの理解を深めるとともに、飼犬の適正な飼養方法、しつけ方を取得してもらうことを、また、これから犬を飼われる方に対し、犬を迎え入れるための準備及び心構えをしていただくために、毎年11月に、1回のガイダンスセミナー講習と3回の実技講習を行っている。その内、ガイダンスセミナー講習については、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	講座の開催				→	イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			70 (参加者数)	70 (参加者数)	70 (参加者数)	70 (参加者数)			
69	京都市動物取扱責任者研修会	動物の愛護及び管理に関する法律に規定する動物取扱業を営む業者の動物取扱責任者を対象に、動物取扱責任者の業務に必要な知識及び能力の向上を図るため、毎年1～2月に5～6回に分けて、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	研修会の開催				→	イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			400 (受講者)	400 (受講者)	400 (受講者)	400 (受講者)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

70	京都市営地下鉄「子どもたちの願いを乗せて」 (主催 公益社団法人京都市児童館学童連盟・京都市日本保育協会)	「京の七夕」関連事業として、児童館、学童保育所、保育園の子どもたちの願いのこもった短冊を地下鉄に掲示するほか、子どもたちが描く絵画を地下鉄に掲示することにより、地下鉄の利用促進を図る。(23年度以降は未定)	取組の推進 短冊(8/4~15) 絵画 (10/13~23, 11/15~25)				→	イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			短冊518葉 絵画100点						
71	右京ブロック児童館・学童保育所まつり (主催 公益社団法人京都市児童館学童連盟・京都市)	児童館、学童保育所が、ステージ発表、各種コーナーなど、子ども向けの工夫を凝らした出し物を実施し、その中で交通局のブースを設け地下鉄利用をアピールする。(23年度以降は未定)	取組の推進 (5月22日)				→	イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
72	保育フェスタ	京都市(保育課・市営保育所)、社団法人京都市保育園連盟等の代表で組織される「笑顔いっぱい元気いっぱい保育フェスタ実行委員会」での協議をもとに、乳幼児及びその保護者をはじめとする一般市民を対象とした子育て講演会、絵画展、イベントを開催する。子育て講演会、絵画展、イベントの開催を通じて、「子育て支援都市・京都」の実現に向け、乳幼児健全育成に対する市民の理解と認識を深め、職員の資質向上を図るとともに、本市の保育所(園)及び屋間里親の保育実践を広く市民に周知する。	イベントの開催等 (23年1月29日~31日, 2月20日)				→	イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			8,000	8,000	8,000	8,000			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

73	京都幼児音楽フェスティバル	市内約27箇園の保育所が、こどもの豊かな心の育成を促進するために、日頃積み重ねてきた音楽リズム保育の成果を市民に広く発表する。	イベントの開催等 (23年2月12, 13日)					イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			7,000	7,000	7,000	7,000			
74	こどもSLフェスタ	こどもの豊かな心の育成を促進するために、日頃の保育では体験できない感動や普段とは違う人々との触れ合いを体験することのできる機関車体験乗車・コンサート及びパフォーマンスショーを通じて、児童に社会見学及びレクリエーションの場を提供する。	イベントの開催等 (5月21日)					イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			2,000	2,000	2,000	2,000			
75	京都市昼間里親制度60周年記念事業記念式典	産休明けからの乳児を、昼間、一般家庭で保育する本市独自の「昼間里親制度」が今年度で60周年を迎えることを記念し、これからの制度発展と子どもたちの健やかな成長を願って、京都市昼間里親連絡会との共催により、親子で参加できる多彩な企画を実施する。	イベントの開催等 (6月26, 27日)					イベント	保健福祉局
			参加・利用者数(人/年間)						
			1,000						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
76	バス停・地下鉄駅近隣の公共施設等におけるイベントの開催	市バスのバス停や地下鉄駅に近い公共施設等において積極的にイベントを開催し、施設等の利用者を増やすことにより、市バス・地下鉄の利用促進に寄与する。 ＜関連施設＞ ア 御池公共地下広場 イ パセオ・ダイゴロー西館アトリウム(公共空間) ウ 京都市景観・まちづくりセンター エ 平成の京町家モデル住宅展示場 オ 京都市すまい体験館	イベント, 事業の開催				イベント	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)					
			(4,431,411) 参考数値	(7,698,000) 参考数値	(7,698,000) 参考数値	(7,698,000) 参考数値		
77	地域住民・事業者の主体的な都心のにぎわい創出支援(御池通沿道のまちづくり)	御池通を京都のシンボルロードとしてふさわしい通りとするため、特別用途地区策定や沿道景観形成計画を定めるなど、魅力的な景観形成やにぎわいのある市街地の形成を目指している。 また、御池通の目標像の一つである「にぎわいと文化」を創出するための取組の一環として、平成18年度から沿道5学区、沿道事業者、京都商工会議所及び京都市で構成する実行委員会主催による「おいけフェスタ」を実施している。 ※「おいけフェスタ」については、平成22年10月23日(土)、24日(日)開催。	取組の推進				まちづくり計画策定等	都市計画局等
			参加・利用者数(人/年間)					
			32,000 (来場者数)	25,000 (来場者数)	25,000 (来場者数)	25,000 (来場者数)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

78	地域住民・事業者の主体的な都心のにぎわい創出支援(烏丸通沿道のまちづくり)	<p>烏丸通のにぎわい創出に向け、平成18年度から烏丸通沿道(三条～高辻間)の地権者等からなる烏丸通沿道懇談会が立ち上がり、地区計画策定や街路樹のイルミネーションに取り組みされており、京都市は、これらの取組の支援を行っている。</p> <p>中長期的には、これら様々な取組を通じて、ビジネス機能・商業サービス機能の集積を図っていくことで、結果として通勤客・買い物客の増加が期待できる。</p> <p>※イベントについては、烏丸通の一般通行客との区別ができないため、参加者数を定めていない。平成22年12月1日～12月31日に開催を予定している</p>					まちづくり計画策定等	都市計画局	
			会の運営、イベントの開催等への支援						
			参加・利用者数(人/年間)						—
79	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	<p>平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議や実施プロジェクトを具体的に推進するための3つの推進マネジメント会議を設置し、推進を図る。</p>					まちづくり計画策定等	都市計画局	
			・「歩くまち・京都」推進本部会議の開催 ・「歩くまち・京都」推進会議及び3つの推進マネジメント会議の開催						
			参加・利用者数(人/年間)						—
80	「スローライフ京都」大作戦	<p>市民のライフスタイルの中で交通行動の変革を意識付けるため、全国で初めて、全市民、観光客等に向けた大規模なモビリティ・マネジメント(MM)を体系的に実施する。市内を運行する電車やバスの便利な情報等を、あらゆる機会を捉えて重層的、複合的に市民に提供し、環境や健康、経済面での公共交通利用の優位性に気付いていただき、自発的な意識改革による交通行動の変化を図り、自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を図る。</p>					公共交通への転換	都市計画局	
			・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 ・「歩くまち・京都」公共交通マップ全市民版(仮称)の配布 ・地域住民や大学等と連携した参加型MMの推進 ・自動車運転免許更新手続時におけるMMの実施						
			参加・利用者数(人/年間)						—

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

81	「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化	「歩くまち・京都」総合交通戦略の先行実施プロジェクトとして交通事業者、関係機関と協議を行ってきた、市内で運行する鉄道、バス事業者間の連携による公共交通ネットワーク強化のための施策について具体的な実現を図り、公共交通の更なる利便性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洛西地域におけるバス利便性向上</li> <li>・京都市内共通乗車券(京都カード(仮称))の創設</li> <li>・公共交通不便地域の対応策に関する検討</li> </ul>	・取組の推進			→	利便性向上	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
82	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区(四条通, 河原町通, 御池通, 烏丸通に囲まれた地区)を中心とした「まちなか」において、四条通の歩道拡幅や公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保や賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四条通の歩道拡幅と公共交通優先化の課題解決のための社会実験</li> <li>・人が主役のまちなか道路の推進</li> </ul>	・取組の推進			→	公共交通への転換	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
83	「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業	東山地区を南北に縦貫し、東山区民の生活道路として、多くの人や車が行き交う東大路通において、観光客を含めた「人」が主役の歩いて楽しい歩行空間の創出に向け、「環境」、「景観」、「地域コミュニティ」、「観光振興」などの観点から、道路空間の再配分を行い、併せて無電柱化やバリアフリー化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道拡幅に伴う周辺道路への影響の検証</li> <li>・整備基本計画の策定</li> </ul>	・取組の推進			→	まちづくり計画策定等	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

84	京都駅南口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	・市民意見募集の実施 ・整備計画の策定 ・測量の実施	・取組の推進			→	利便性向上	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
85	観光地交通対策	秋の観光ピーク期である11月に、交通の円滑化と安全快適な歩行者空間を創出するため、嵐山地区と東山地区において、京都府警察等関係機関と連携の下、臨時交通規制やシャトルバスの運行等の交通対策を、パークアンドライドと併せて実施することにより、自動車流入の抑制と公共交通の利用を促進する。	・観光地交通対策の実施	・取組の推進			→	公共交通への転換	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
86	パークアンドライドの実施	環境負荷の軽減を図るとともに、市内への自動車流入の抑制と観光地を中心とする交通渋滞の緩和を目的として、近隣自治体や駐車場事業者等と連携し、秋の観光シーズンのほか、土曜・日曜・休日など市内への自動車流入が増える時期に合わせて継続実施する。更に、通勤、買物など日常生活での利用に向けて駐車スペースの拡大や利用促進策の実施により通年化を図る。	・パークアンドライド利用者の増加	・取組の推進			→	公共交通への転換	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

87	交通施設バリアフリー化の推進	「京都市交通バリアフリー全体構想」に基づく「重点整備地区」において、旅客施設及び周辺道路等の重点的・一体的なバリアフリー化を推進する。	・JR東福寺駅、京阪東福寺駅の整備 ・嵯峨嵐山地区における連絡会議の開催	・取組の推進			→	利便性向上	都市計画局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
88	Think Our Street推進委員会が開催する研修会【臨時】	全国28都市が加盟するThink Our Street推進委員会の研修会(11月)を京都市内で開催するにあたり、地下鉄沿線に会場を設定し、地下鉄でのアクセス方法を案内する。	研修会の開催				→	広報・PR	建設局
			参加・利用者数(人/年間)						
			約50人						
89	広告付きバス停上屋の設置に向けた関係機関の調整	広告付きバス停上屋の設置によるバス待ち環境の向上により増客を図るため、関係機関による協議会を設置し、必要な許可等を円滑に行うための調整を行っている。交通局では22年度から市民意見を参考に本格的な設置を進め、25年度中に400箇所の設置を目指す予定であり、引き続き関係機関の調整を行う。	取組の推進				→	その他	建設局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
90	駅ナカビジネスの促進を図るための道路占用許可申請手続の簡素化	地下鉄利用者の利便性向上による増客を図るため、地下鉄施設内における駅ナカビジネスの道路占用について、歩行者の通行に支障のない範囲で地下鉄事業者の自主管理に委ねる取扱いを平成20年10月1日から実施している。	取組の推進				→	その他	建設局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

91	駐輪場の整備	地下鉄駅及び市バス停留所周辺で駐輪場を整備し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進				→	施設の整備・誘致	建設局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
92	「道の日」記念事業 (地下鉄沿線での事業実施)	8月の「道の日」記念イベントをゼスト御池河原町広場(地下鉄京都市役所前駅)で行う。イベントでは、道路の正しい利用についての啓発、自転車駐輪マナーの向上キャンペーン等を行う。	イベントの開催 (8月10日)				→	イベント	建設局
			参加・利用者数(人/年間)						
			100 (参加者数)	100 (参加者数)	100 (参加者数)	100 (参加者数)			
93	交通安全フェスタ	盲導犬講習やささまざまな交通安全体験を通して、交通安全活動を推進する。	イベントの開催				→	イベント	建設局
			参加・利用者数(人/年間)						
			参加者数 (見込み) 3,000人						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

94	グリーンフェア	市民の皆様に京都市を代表する都市公園「梅小路公園」の広大な緑や、季節の花々に親しんでいただくために年2回、春と秋に開催している。					イベント	建設局	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						
			77,000 (来場者数)	77,000 (来場者数)	77,000 (来場者数)	77,000 (来場者数)			
95	春の子ども祭り	大宮交通公園にて年1回春に開催している。子供に楽しみながら交通に関する知識や、正しい交通ルールを身につけてもらうことを目的につくられた本公園の取組を広く理解してもらうために開催している。					イベント	建設局	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						
			1,000 (来場者数)	1,000 (来場者数)	1,000 (来場者数)	1,000 (来場者数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
96	北区民ふれあい事業 (公共交通機関の利用促進)	四大まつり(春・夏・秋・冬まつり)や人権啓発事業等, 北区民ふれあい事業の実施に当たり, 参加者に公共交通機関の利用を積極的に呼び掛ける。	取組の推進				広報・PR	北区
			参加・利用者数(人/年間)					
			約25,000人 (参加者数)					
97	北区民春まつり ～ふれあいまつり 2010～ 交通局コーナーの設置	市バス・地下鉄の利用を呼びかけるとともに, 市バス1日乗車券等や交通局オリジナルグッズの販売を行う。	取組の推進				イベント 乗車券販売・広告 収入等	北区
			参加・利用者数(人/年間)					
			約300人 (コーナー来客数)					
98	北区伝統ブランドいきいき発信事業	北区で生産されている京野菜をPRするイベント「もぎたて 京の朝市」を市バス・地下鉄駅及びその付近で開催。(初夏, 初冬に実施予定)	取組の推進				イベント	北区
			参加・利用者数(人/年間)					
			約2,000人 (来場者数)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

99	北区北部山間いきいき大作戦エコツアーリズムキャンペーン	北区の豊かな自然と伝統的な山村風景を多くの方に体感していただき、守っていくために、自然と素朴な人の営みを撮影した写真を募集するイベントを開催。(フォトコンテスト計3回、フォトツアー計3回実施予定) 現地へのアクセスに公共交通機関の利用を呼び掛ける。					イベント	北区	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
100	「上京区民ふれあいまつり」における市バス等のPR	交通局にPRブースの出店を依頼し、トラフィカ京カードや交通局オリジナルグッズの販売やマスコットキャラクターのステージ出演などを通じて、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。22年10月24日開催。	イベントの開催				イベント乗車券販売・広告収入等	上京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			7000	4000	4000	4000		
101	委員謝礼の支払いに市バス一日乗車券を利用	「上京区基本計画策定委員会」委員に支払う謝礼として市バス一日乗車券を利用。(開催回数等未定)	22年度で終了				乗車券販売・広告収入等	上京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			34					
102	職員の利用促進	職員内で企画する催しの際に、会場までの移動手段として、利用可能な場合は、臨時バスを手配。または、市バスの利用を勧奨。(開催時期未定)	イベントの開催				臨時バスの運行	上京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			40	40	40	40		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

103	上京散策手帳における市バス・地下鉄情報の掲載	観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区の観光スポットを紹介している小冊子「上京散策手帳」の紙面上の地図において、市バス路線・系統番号及び停留所を明記。	取組の推進				広報・PR	上京区
			参加・利用者数(人/年間)					
104	ホームページコンテンツ(撮っておき上京!)における市バス・地下鉄情報の掲載	観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区ホームページコンテンツ「撮っておき上京!」において、現地への市バス・地下鉄での行き方を交通局に依頼し明記。	取組の推進				広報・PR	上京区
			参加・利用者数(人/年間)					
105	かみぎゆうくんのTwitterにおける市バス・地下鉄利用の呼びかけ<新規>	来庁時や観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区マスコットキャラクター「かみぎゆうくん」のTwitterにおいて、市バス・地下鉄利用を呼びかける書き込みを断続的に掲載。	取組の推進				広報・PR	上京区
			参加・利用者数(人/年間)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
106	ふれあい事業等での公共交通機関利用促進	ふれあい事業等を市バス・地下鉄沿線で開催する際には、パンフレットに最寄駅やバス停、系統を記載。また、関係団体、参加者に市バス・地下鉄利用を呼び掛ける。啓発ブースを設ける場合は、交通局も開設できるよう配慮する。	取組の推進				→	イベント 乗車券販売・広告 収入等	左京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			約5,000人 (参加見込数)	約5,000人 (参加見込数)	約5,000人 (参加見込数)	約5,000人 (参加見込数)			
107	職員の市バス利用の促進	職員内で企画する催し等において、乗車券カードの利用を検討	取組の推進				→	乗車券販売・広告 収入等	左京区
			参加・利用者数(人/年間)						
108	「留学生がおすすめする文化と歴史の左京ウォーキングマップ」への市バス地下鉄路線図の掲載<新規>	「留学生がおすすめする文化と歴史の左京ウォーキングマップ」において市バス地下鉄路線図の掲載	取組の推進				→	広報・PR	左京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			20,000部(パンフレット配布数)	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

109	職員プロジェクト チーム「歩くまち・左 京の推進に向けて」 による検討 ＜新規＞	職員プロジェクトチーム「歩くまち・左京の 推進に向けて」による検討する。	取組の推進				その他	左京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
110	委員謝礼に「スルッ トKANSAI都カード」 利用 ＜新規＞	各種委員謝礼において「スルッ トKANSAI都カード」を利用する。	取組の推進				乗車券販 売・広告 収入等	左京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			12人 (委員謝礼数)	20 (委員謝礼数)	20 (委員謝礼数)	20 (委員謝礼数)		
111	市民しんぶん左京 区版「左京ボイス」 区民作品コーナー (川柳・挿絵)謝礼に 「市バス一日乗車 券」利用 ＜新規＞	市民しんぶん左京区版「左京ボイス」区民 作品コーナー(川柳・挿絵)の謝礼に「市バ ス一日乗車券」利用する。	取組の推進				乗車券販 売・広告 収入等	左京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			60人 (掲載数)	60人 (掲載数)	60人 (掲載数)	60人 (掲載数)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
112	テレビモニター広報による市バス・地下鉄利用の呼びかけ	区役所設置の5台のテレビモニターを利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。	区役所庁舎内のテレビモニターによる広報の実施				→	広報・PR	中京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
113	「はんなり中京マップ」拡大版の掲示	地下鉄等の駅やバス停などを掲載している同マップの拡大版を庁内等に掲示することで来庁者や観光客等の公共交通機関利用を促進。	区役所庁舎内等への掲示				→	広報・PR	中京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
114	委員謝礼としての「トラフィカ京カード」利用	「中京区基本計画策定委員会」の委員に支払う謝礼として同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進。	委員会の開催(年間2回程度)	—	—	—	→	乗車券販売・広告収入等	中京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			38 (述べ委員数)	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

115	職員の利用促進	中京区厚生会事業で、事業参加者に記念品としてトラフィカ京カード500円分を配布した	厚生会事業で記念品としてトラフィカ京カード配布				職員等利用	中京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			厚生会事業参加者数 80人					
116	「中京区民ふれあいまつり2010」における地下鉄利用の促進	ふれあいまつり開催の広報活動を通じて、地下鉄(市バス)利用を呼び掛けるとともに、当日地下鉄利用で来場した方に粗品を進呈するなど、地下鉄利用の促進を図る。 開催日 10月24日(日) 会場 中京中学校	取組の推進	23年以降は未定			イベント	中京区
			参加・利用者数(人/年間)					
				19,000 (来場者総数)				
117	中京しんぶんの読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」利用	中京しんぶん(市民しんぶん中京区版)の読者プレゼントとして同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進	年12回発行				乗車券販売・広告収入等	中京区
			参加・利用者数(人/年間)					
				中京区民世帯数 54928世帯 (22. 5. 1現在)				

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
118	東山区来訪者向けホームページへの市バス・地下鉄情報の掲載	公共交通機関の利用を促進するため、東山区各名所へのアクセス情報を公共交通機関の情報に限定し、区内各観光名所やイベント情報の掲載には、市バス・地下鉄の最寄り駅などを紹介するほか、交通局や便利な乗車券を紹介するページにもリンク。 (22年11月の観光シーズンの市バス・地下鉄をはじめとした公共交通機関の利用を促す情報を充実)	取組の推進				→	広報・PR	東山区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
119	東山3K(観光・交通・環境)協力金会議との協働による取組の推進	取組の一環として、市バス・地下鉄などの公共交通機関利用を促す観光散策マップの発行や観光案内標識の設置など、歩いて楽しむ観光を推進。 連休や秋の観光シーズンなど、人出の混雑が予想される際には交通誘導員を配置し、安全に散策できるような環境づくりに取り組む。	取組の推進				→	広報・PR	東山区
			参加・利用者数(人/年間)						
120	東山区民ふれあいひろばにおける参加者の市バス・地下鉄の利用促進	広報時に、会場までの交通手段として公共交通機関の利用を促す文言を掲載。また、当日は交通局ブースを出店しトラフィカ京カードの販売等を行う。22年5月30日開催。	取組の推進				→	イベント 乗車券販売・広告 収入等	東山区
			参加・利用者数(人/年間)						
			約13,000人 (来場者数)	約13,000人 (来場者数)	約13,000人 (来場者数)	約13,000人 (来場者数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

121	職員の利用促進	職員内で企画する催し等において、トライフ리카京カードを使用。 23年1~2月開催予定。					乗車券販売・広告 収入等	東山区	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						
			約100人 (参加者数)						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
122	京都・やましな観光ウィークの実施	21年11月開催の観光イベント, 京都・やましな観光ウィーク「恋の地・平安浪漫の路 in 勧修寺・随心院」の成果を踏まえ, 22年度においても観光イベントを継続的に実施。	観光イベントの開催 (11月19, 20日)				イベント	山科区
			参加・利用者数(人/年間)					
			未定	未定	未定	未定		
123	「おこしやす“やましな”協議会」による市バス・地下鉄の利用促進の取組	以下の取組を実施。 ①京都観光一日乗車券(山科・醍醐拡大版)の販売促進(乗車券利用当日, 提示した方に山科区の4寺院の拝観料割引を実施。乗車券販売期間中) ②地下鉄駅における観光マップの配布 ③協議会HPによる広報・PR(地下鉄を利用した山科区へのアクセス方法などを掲載)	取組の推進 (①については22年度で終了)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR 乗車券販売・広告 収入等	山科区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
124	京都観光一日乗車券(山科・醍醐拡大版)の販売促進	販売促進策として, 市民しんぶん山科区版でのPR, 区内イベントのPRに合わせたPR等を実施。	取組の推進				広報・PR 乗車券販売・広告 収入等	山科区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

125	おこしやす“やましな”スタンプMAP(仮称)～山科を巡って、名産品をゲットしよう～の実施	山科への観光客数増加を図り、地下鉄の増客対策につなげるため、地元団体と連携したスタンプラリーを実施。また、山科の観光イベントや名所などについても紹介する広報活動を積極的に展開。	→				広報・PRイベント	山科区	
			スタンプラリーの実施						
			参加・利用者数(人/年間)						未定
126	「山科区エコアクションNo.1宣言2010」参加者の地下鉄利用促進	東部文化会館(柳辻駅付近)で開催予定のイベントの実施(22年9月11日実施)に当たり、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。また、環境家計簿の取組を推進することで、地下鉄等の公共交通機関の利用促進を図る。	→				広報・PRイベント	山科区	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						500人(定員)
127	山科区役所関連事業の賞品等へのトラフィカ京カードの利用	「山科区エコアクションNo.1宣言2010」関連事業の副賞等、山科区役所関連事業の賞品等に、できる限りトラフィカ京カードを利用する。	→				乗車券販売・広告収入等	山科区	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						未定

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

128	市民啓発事業における公共交通機関の利用促進	<p>憲法月間(5月25日実施)…各種団体のリーダーを対象に研修会を実施(市内の施設見学)。移動手段として地下鉄を利用。</p> <p>人権月間(12月3日実施予定)…開催場所を東部文化会館(柳辻駅付近)とし、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。</p>	取組の推進				→	広報・PR	山科区
			参加・利用者数(人/年間)						
			憲法月間 18人 人権月間500人 (定員)	憲法月間 1人 人権月間500人 (定員)	憲法月間 1人 人権月間500人 (定員)	憲法月間 1人 人権月間500人 (定員)			
129	「ふれあい“やましな”2011区民ふれあい文化祭」参加者の地下鉄利用促進	<p>開催場所を東部文化会館(柳辻駅付近)とし、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。</p> <p>23年2月13日実施予定。</p>	取組の推進				→	広報・PR イベント	山科区
			参加・利用者数(人/年間)						
			約3,000人	約3,000人	約3,000人	約3,000人			
130	山科区交通問題研究会(仮称)の設立	<p>区の交通問題を解決するための対策案を議論する場として、区内交通事業者、地元団体、学識経験者、庁内関係部局などで構成する研究会を設立。具体的なバス路線の再構築について、地下鉄の増客につなげることも視野に、研究・検討する。</p> <p>22年9月7日第1回会議実施。23年3月までに4回程度開催予定。</p>	研究会の設置、交通問題に関する研究・検討				→	その他	山科区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

131	区民が選んだ「山科の魅力」の選定	区民が親しみ誇りとし、未来に伝えたい山科の魅力を選定。22年度には選定した魅力を活用した行事の実施を検討しており、地下鉄増客も視野に入れて検討を進める。選定された魅力を紹介する冊子「京都山科東西南北」により、地下鉄で山科を訪れる方も増えることが期待される。	案内板の設置, イベントの実施				広報・PR イベント	山科区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—					
132	山科区民歩こう会における地下鉄の利用	これまで、山科区役所や区内の小中学校等を集合場所とし、区内中心に実施してきたが、22年度は、集合場所を京都市役所前等とするなど、地下鉄を利用していただくためのコースを検討している。22年12月5日実施予定。	取組の推進				イベント	山科区
			参加・利用者数(人/年間)					
			約400人	約400人	約400人	約400人		
133	山科区役所職員に対する市バスの利用喚起	山科区役所全職員に対して、市バスの現状を周知し、通勤利用及び私的利用を促進。	取組の推進				職員等利用	山科区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
134	下京区総合庁舎 駐輪場拡充	身体障害者用3台を除き、駐車を廃止し、駐輪場を拡充する。 これにより、自動車中心社会から公共交通機関と徒歩、自転車の利用への転換を促す。	10月15日供用開始			→	施設の整備・誘致	下京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
135	「下京区門前町ルネッサンス」参加者の市バス・地下鉄の利用促進	広報時に、会場の両本願寺門前地区までの市バス系統も広報。 会場内に市バス・地下鉄乗車券販売コーナーを設け、PRしてもらう。 秋頃実施予定。	10月31日に開催。乗車券販売コーナーについては設置せず。			→	イベント乗車券販売・広告収入等	下京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			集計中	6,600 (平成21年度実績)	6,600 (平成21年度実績)	6,600 (平成21年度実績)		
136	「下京区ふれ愛ひろば」参加者の市バス・地下鉄の利用促進	広報時に、会場の梅小路公園までの市バス系統も広報。 会場内に市バス・地下鉄乗車券販売コーナーを設け、PRしてもらう。 秋頃実施予定。	11月7日開催予定			→	イベント乗車券販売・広告収入等	下京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			20,000 (平成21年度実績)	20,000 (平成21年度実績)	20,000 (平成21年度実績)	20,000 (平成21年度実績)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

137	モニター広告による市バス・地下鉄の利用案内の放映	モニター広告を利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛けるとともに、区役所周辺のバス停、系統等を表示。					広報・PR	下京区	
			来庁時の公共交通機関利用を呼び掛け						
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
138	投票所における市バス時刻表の掲示	各種選挙の期日前投票所に最寄のバス停の時刻表を掲示。	4月府知事選挙, 7月参議院選挙にて実施。	以後, 継続。			広報・PR	南区
			参加・利用者数(人/年間)					
139	南区役所が主催する屋外イベント等における参加者に対する公共交通機関の利用促進	参加者に対して, 集合場所を地下鉄の駅として地下鉄の利用を促し, パンフレットや区版等による広報の際に, 市バスの利用促進を呼び掛ける。	人権バスツアー(5月27日)や南区民ふれあいまつり(11月14日)の際に実施。	以後, 継続。			広報・PR	南区
			参加・利用者数(人/年間)					
			約3万人	約3万人	約3万人	約4万人		
140	南区が主催する講演会やシンポジウムにおける公共交通機関の利用促進	参加者に来場の際に市バス・地下鉄を利用するよう啓発活動を行う。	人権月間における講演会(12月3日)等の際に実施。	以後, 継続。			イベント	南区
			参加・利用者数(人/年間)					
			約400人	約400人	約400人	約400人		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

141	職員の利用促進	職員内で企画する催し等において、交通局の臨時バス利用を検討。また、トラフィカ京カード等の交通局乗車券も活用する。					臨時バスの運行 乗車券販売・広告 収入等	南区
			適宜実施を検討。	以後、継続。				
			参加・利用者数(人/年間)					
142	南区が発行・更新する市民しんぶんやHPなどの広報媒体を利用した公共交通機関の利用促進	南区が発行・更新する市民しんぶんやHPなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進についても情報発信を積極的に行っていく。					広報・PR	南区
			市民しんぶん発行時やHP更新時に、適宜実施。	以後、継続。				
			参加・利用者数(人/年間)					
143	南区役所関連事業の協力者等への謝礼としてトラフィカ京カード等の交通局乗車券の活用	南区役所が実施する事業等に協力していただいた市民等に謝礼としてトラフィカ京カード等の交通局乗車券を提供することで、公共交通機関の利用促進を図る。					乗車券販売・広告 収入等	南区
			謝礼への活用を適宜検討。	以後、継続。				
			参加・利用者数(人/年間)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
144	サンサ右京の施設設備を活用した地域振興事業等の実施	自治会連合会をはじめとする区民団体等とのきょうかんにより、サンサ右京「区民ロビー」をはじめとする施設設備を、福祉屋台(福祉施設の手作り製品の展示販売)など、柔軟な発想で幅広く活用し、地下鉄の利用促進につながる事業を展開。	取組の推進			→	イベント	右京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
145	区役所主催・関連事業における市バス等のPR・公共交通機関の利用促進	事業の周知を行う際には、市民しんぶん区版やポスターに、市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。	取組の推進			→	広報・PR	右京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
146	ふれあい事業等での公共交通機関利用促進	ふれあい事業等実施時における広報には、来場者に市バス・地下鉄を利用して来場していただくよう、告知看板、ポスター、市民しんぶん等に記載し利用促進を図る。 また、ふれあい事業で啓発ブースを設ける場合は、市バス・地下鉄PRブースの開設を検討し、抽選会等の実施の場合は景品等にトラフィカ京カード・一日乗車券等も可能な限り活用する。	取組の推進			→	イベント 乗車券販売・広告 収入等	右京区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

147	テレビモニター広告による市バス・地下鉄の利用案内の放映	区役所に設置予定の5台の広告用テレビモニターを利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。22年6月から実施。					広報・PR	右京区	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
148	区役所における地下鉄・市バスの利便性の向上	区役所内に市バス・地下鉄時刻表を貼り出し、来庁者の利便性向上とともに利用促進を図る。					広報・PR	右京区	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
149	市バスの利用促進に向けたPR	イベント等の参加者や区役所への来庁者に対して、できるだけ多くの方に市バスを御利用いただけるようPRに努める。	取組の推進				→	広報・PR	西京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
150	西京区民ふれあいまつりにおける交通局ブースの出店による市バスのPR	西京区民ふれあいまつりにおいて、交通局のブースを出店し、区民に親しんでもらえるイベントのPRやトラフィカ京カードの販売等を行う。	取組の推進 (平成22年11月20日実施予定)				→	イベント 乗車券販売・広告 収入等	西京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			9,500 (参加者数)	9,500 (参加者数)	9,500 (参加者数)	9,500 (参加者数)			
151	西京区魅力再発見ふれあいウォーキングを通じた市バスの利用促進	「西京ウォーキングマップ」を活用して、区民との協働により実施する「ふれあいウォーキング」について、市バスの停留所が起点や終点となることを考慮しながらコースを設定するなど、市バスの利用促進を図る。	取組の推進 (平成22年6月13日実施)				→	イベント	西京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			250 (参加者数)	250 (参加者数)	250 (参加者数)	250 (参加者数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

152	職員の利用促進	職員間において企画する催し等の交通手段として、できるだけ市バスを利用するよう周知する。	取組の推進 (平成22年10月, 12月, 平成23年2月に実施予定)				→	職員等利用	西京区
			参加・利用者数(人/年間)						
			300 (参加者数)	300 (参加者数)	300 (参加者数)	300 (参加者数)			
153	西京塾と連携した環境マップの作成・発信を通じた市バスの利用促進	自主的なまちづくり活動を行う「西京塾」の「環境・自然班」のメンバーと協働して、西京区内を走る市バス沿線の見所を紹介するマップを作成し、広く発信することにより、市バスの利用促進を図る。	マップの作成 (23年3月完成予定)	マップの配布			→	広報・PR	西京区
			マップの配布						
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
154	洛西ニュータウン創生推進委員会における交通局との連携	洛西ニュータウン創生推進委員会の主催するイベント等において、交通局関係ブースの出展依頼を行う、市バス利用のPRを行うなど、交通局との連携を行い、市バスの利用促進を行う。	取組の推進					広報・PR イベント	洛西支所
			参加・利用者数(人/年間)				→		
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
155	各種イベントチラシにおける市バス・地下鉄でのアクセスルート掲載	区役所が主催・共催等する各種イベントの周知チラシにおいて、可能な限り、市バス・地下鉄でのアクセスルートを掲載。	イベント毎に市バス・地下鉄でのアクセスルートを掲載				→	広報・PR	伏見区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
156	市バス・地下鉄利用の啓発	庁舎1階の玄関や各課の窓口において、区役所来庁時には、市バス・地下鉄を利用してもらうよう啓発。また、各種送付文書や行事等の案内文で公共交通機関利用促進を啓発。	庁舎1階入口に市バスの時刻表を掲示、市民窓口課ロビーに市バス・地下鉄路線図を配架				→	広報・PR	伏見区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
157	広告モニターを使っ ての公共交通機関 の利用促進	庁舎内設置の広告モニターを活用し、来庁される方や職員に市バス・地下鉄を中心とする公共交通機関利用について啓発。	広告モニターで地下鉄・市バスの利用を啓発				→	広報・PR	伏見区
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

158	職員の利用促進	定例課長会や所属掲示板等あらゆる機会をとらえ、職員に対して、市バス・地下鉄を利用するよう協力を依頼。	取組の推進				職員等利用	伏見区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
159	広報・PR(情報提供)	近隣の市バス停留所を示した簡素な案内地図をA4サイズ程度で作成し、ラミネートした状態で窓口席上に設置。	取組の推進				広報・PR	伏見区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
160	地下鉄駅周辺を拠点とした事業の実施	地下鉄駅、もしくは駅に近い場所を拠点とした事業を実施し、区民や職員の利用を促進する。	取組の推進				イベント	伏見区
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

161	敬老乗車証の利用促進	生活保護受給世帯のうち、敬老乗車証の交付を受けていない70歳以上の方を対象に、制度の周知を図り増客につなげる。	6月以降、家庭訪問の際に個別に働きかける。				→	その他	伏見区
			—	—	—	—			
162	委員謝礼としての「トラフィカ京カード」の利用	「伏見区基本計画策定委員会」の委員に支払う謝礼として同カードを利用し、公共交通機関の利用を促進する。	委員会の開催(年間2回程度)	22年度で終了			→	乗車券販売・広告収入等	伏見区
			46(延べ委員数)						

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
163	市バス・地下鉄の利用促進の啓発	22年度から導入したのテレビ広告モニターにおいて、公共交通機関による来庁及び市バス・地下鉄利用の促進を図る	取組の推進			→	広報・PR	深草支所
			参加・利用者数(人/年間)					
			—					
164	ふかくさ旬野菜の直売	深草産の野菜や深草の竹を使った製品等の販売を行い、深草の旬の野菜の魅力をPRする。地下鉄駅構内(竹田駅等)での実施を検討。活動時期等は不定期。	取組の推進			→	イベント	深草支所
			参加・利用者数(人/年間)					
			未定					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

165	深草トレイル	<p>東山三十六峰の最南端に位置する稲荷山の南西部に広がる丘陵地帯である深草・稲荷地域は、伏見稲荷大社や藤森神社などに代表される40以上もの寺院や祠、鳥居が散在するなど、数多くの名所・旧跡を有し、また京都を代表する筍を産出する広大な竹林を有している。これら多くの名所・旧跡や大岩街道周辺地域の竹林道を結ぶ散策路(トレイル)を平成20年度に整備した。</p> <p>コースのスタートは京阪伏見稲荷駅と京阪藤森駅であるため、地下鉄三条京阪駅での乗り継ぎを通して地下鉄利用者の増加が見込まれる。</p>					施設の整備・誘致	深草支所
			参加・利用者数(人/年間)					
166	第20回深草ふれあいプラザ	<p>深草の良さを再発見し、地元への愛着を更に図ることを目的として、深草地域の子どもからお年寄りまで、誰もが参加し楽しむことができる場を提供することにより、幅広い世代の住民が相互に交流を深めることができる各種事業を展開する。</p> <p>開催の広報活動を通して、地下鉄(市バス)の利用を呼びかけるとともに、お楽しみ抽選会の景品として市バス・地下鉄乗車券を利用する。</p>	第20回深草ふれあいプラザ	第21回深草ふれあいプラザ	第22回深草ふれあいプラザ	第23回深草ふれあいプラザ	広報・PR	深草支所
			参加・利用者数(人/年間)					
			約15000人	約15000人	約15000人	約15000人		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
167	地下鉄東西線と醍醐コミュニティバスとの連携した醍醐エリアへの集客増加対策	観光振興をはじめとした醍醐地域の活性化につながる取組(観光マップ, 醍醐PRパネル作成及び地下鉄駅への配布等)を行うことで, 地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関の利用促進につなげる。	企画・実施	取組の推進		→	広報・PR	醍醐支所
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
168	醍醐ふれあいプラザにおける交通局ブースの出店	ふれあいプラザにおいて交通局にブース出店を依頼し, 地下鉄・バスの利用を呼び掛ける。(平成22年度は, 9月19日(日)実施済。平成23年度以降も同時期に開催予定。)	取組の推進			→	広報・PR イベント	醍醐支所
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		
169	刊行物等への交通アクセスの記載の働き掛け	寺社・各種団体等が作成する行事のパンフレット等に, 交通アクセスとして地下鉄東西線の記載を働き掛ける。	取組の推進			→	広報・PR	醍醐支所
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

170	広告用TVモニターによる地下鉄・バスの利用促進の周知	22年4月から支所に設置している広告用TVモニターを利用して、来庁者へ地下鉄・バスの利用を呼び掛ける。					広報・PR	醍醐支所
			→					
			取組の推進					
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
171	京都市消防出初式	<p>訓練や行進等を通じ、力強い姿を披露するとともに、「安心・安全のまち京都」の推進に努めていく決意を新たにすることを目的として京都会館前付近(予定)で開催 市バス・地下鉄での来場を勧奨する。</p> <p>○開催日 成人の日(1月の第2月曜日)の前日 平成23年1月9日(日)</p>	取組の推進				イベント	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約2,800 (参加者等)	約2,800 (参加者等)	約2,800 (参加者等)	約2,800 (参加者等)		
172	京都市消防団定例表彰式及び消防団員家族のつどい	<p>市民の生命と財産を守るため、業務に精励する消防団及び消防団員の表彰を行うとともに、団員とその家族の献身的な協力に感謝するため「消防団員家族のつどい」を京都会館第1ホールで開催 市バス・地下鉄での来場を勧奨する。</p> <p>○開催日(年1回, 11月に実施) 平成22年11月2日(火)</p>	取組の推進				イベント	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約3,000 (参加者等)	約3,000 (参加者等)	約3,000 (参加者等)	約3,000 (参加者等)		
173	「防火ふれあいコンサート」	<p>多くの市民に音楽を通じて防火・防災の啓発を行うため、消防音楽隊による「防火ふれあいコンサート」を毎月各1回、市内4箇所(キタオオジタウン、ゼスト御池、ポルタプラザ、パセオダイゴロー)の地下鉄沿線で開催</p>	取組の推進				イベント	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約9,000 (参加者等)	約9,000 (参加者等)	約9,000 (参加者等)	約9,000 (参加者等)		
174	京都市市民防災センターの利用勧奨	<p>京都市市民防災センター(南区西九条菅田町7)における災害の疑似体験、イベント等へ参加する際、市バス・地下鉄の利用を勧奨する(通年)。</p>	取組の推進				イベント	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約100,000	約100,000	約100,000	約100,000		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

175	住宅用火災警報器設置推進大会	<p>自主防災組織や事業所の方々を対象に、住宅用火災警報器の奏功事例や地域で行われている共同購入の取組に関する情報を紹介 全世帯設置を推進することを目的として、みやこめっせで開催 来場の際、市バス・地下鉄の利用を勧奨する。 ○開催日 平成22年6月27日(日)</p>	住宅用火災警報器設置推進大会の開催				イベント	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約3,000 (参加者等)					
176	全国消防救助技術大会	<p>全国消防救助技術大会は、毎年政令市等で開催されており、第39回大会を京都市消防活動総合センターにおいて開催 なお、同大会の開催に伴い、臨時バスを利用する。 ○開催日 平成22年8月27日(金)</p>	全国消防救助技術大会の実施				イベント 臨時バスの運行	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			約18,000 (参加者等)					
177	京都市内で実施する各種会議、研修会等	<p>京都市内で実施する各種会議、研修会等を実施する際に、市バス・地下鉄でのアクセス方法を紹介する。 (例) 1 全国消防長会東近畿支部総会(4月下旬) 2 全国消防長会東近畿支部役員会(4月下旬) 3 消防職員意見発表会(4月下旬) 4 その他各種研修会等</p>	取組の推進				広報・PR	消防局
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

	事業項目		年次計画				類型	担当局区
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度		
178	交通局マスコットキャラクターの着ぐるみ製作	未来のお客様であるお子様に、市バス・地下鉄に親しみを持ってもらうため、交通局のマスコットキャラクターの着ぐるみを製作し、様々なイベントで活用する。	着ぐるみの製作	着ぐるみの活用			広報・PR	交通局総務課
参加・利用者数(人/年間)						→		
179	市バス・地下鉄友の会	市民の皆様やお客様を対象とした会員制の市バス・地下鉄のファンクラブとして、会報誌の発行や交通局のイベントへの参加などを通じて、局事業のPRを行い、市バス・地下鉄事業への理解を深めていただいている。	会員募集、会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介	会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介	会員募集、会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介	会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介	広報・PR	交通局総務課
参加・利用者数(人/年間)						→		
			300 (会員数)	300 (会員数)	300 (会員数)	300 (会員数)		
180	企画乗車券等の販売促進	他社局と連携して発売している企画乗車券等について、PRを積極的に行うなど、販売促進に努める。	企画乗車券の発売				乗車券販売・広告収入等	交通局企画課
参加・利用者数(人/年間)						→		
			58万枚 (発売枚数)	58万枚 (発売枚数)	59万枚 (発売枚数)	59万枚 (発売枚数)		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

181	民間交通事業者と連携した取組の推進	関西の公共交通各社と連携し、神戸や大阪の他社駅等で観光リーフレットの配布会やPRポスターの掲示を行うことで、相互に観光客の獲得を図る。	取組の推進				広報・PR	交通局 企画課
			参加・利用者数(人/年間)					
182	市バス・地下鉄愛好会事業の推進	大学などが自主的に企画・運営する、市バス・地下鉄の増客につながるイベント等について、交通局がPRなどの協力を行う。	愛好会事業の実施 (6月20日)				イベント	交通局 企画課
			参加・利用者数(人/年間)					
			2回 (事業数)	2回 (事業数)	2回 (事業数)	2回 (事業数)		
183	通勤・通学定期券のPR強化	自家用車から市バス・地下鉄へのシフトを図るため、大学入学時のオリエンテーションでの配布資料に通学定期券のPRチラシを同封するなど、様々な機会を通じて定期券のPRを徹底して行う。	積極的なPRの実施				広報・PR	交通局 企画課
			参加・利用者数(人/年間)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

184	市バス・地下鉄によるお出かけを提供するスタンプラリーなどのイベントの実施	市バス・地下鉄利用の機会を提供するスタンプラリーなどのイベントを実施する。	イベントの実施				→	イベント	交通局 企画課
			参加・利用者数(人/年間)						
185	イベント列車の運行	地下鉄の利用促進を図るため、地下鉄車両に装飾を施したイベント列車を運行する。	イベント列車の企画・運行(8月上旬)				→	イベント	交通局 企画課
			参加・利用者数(人/年間)						
			2回 (実施回数)	2回 (実施回数)	2回 (実施回数)	2回 (実施回数)			
186	地下鉄・市バスの利用促進を区役所でパネル展をして呼び掛け	区役所等でお得な乗車券、沿線観光情報等を発信するため、PRポスターの掲示やチラシを配布するパネル展を開催する。	パネル展の実施				→	広報・PR	交通局 企画課 各区
			参加・利用者数(人/年間)						
			2箇所 (実施箇所数)	2箇所 (実施箇所数)	2箇所 (実施箇所数)	2箇所 (実施箇所数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

187	地下鉄・市バスグッズの発売	こどもから大人まで幅広い層のお客様が市バス・地下鉄に親しみを持ってもらえるよう、市バス・地下鉄の車両をデザインしたグッズを発売する。	グッズの製作・販売				広報・PR	交通局企画課
			参加・利用者数(人/年間)					
			2種類 (グッズ数)	2種類 (グッズ数)	2種類 (グッズ数)	2種類 (グッズ数)		
188	増客に向けた市バスの系統・ダイヤの編成	地下鉄をはじめ民間交通機関とのネットワークを活かしたお客様の増加につながる系統・ダイヤを編成する。 利用者からの目線で分かりやすさを追求した路線やダイヤの実施に努める。	取組の推進				利便性向上	交通局自動車部
			参加・利用者数(人/年間)					
189	観光地向け臨時急行バスの運行	京都駅をはじめとした主要地下鉄駅と観光地を結ぶ臨時急行路線を運行し、地下鉄から市内主要観光地へのアクセス向上を図る。具体的には、すでに運行している東山シャトル、金閣寺Express、銀閣寺Expressの利便性向上に努める。	取組の推進				利便性向上	交通局自動車部
			参加・利用者数(人/年間)					

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

190	バス待ち環境の向上	市バスの利用促進を図るため、新たにバス停広告を導入し、広告料収入を活用して、乗り継ぎの多い停留所を中心に雨つゆのしのぎやすいバス停の設置、ベンチの設置、周辺の駅や分設停留所、主要駅への主要時間などの案内表示の充実などバス待ち環境の向上を図る。					利便性向上	交通局 自動車部	
			上屋付きバス停留所の設置						
			設置数(箇所/年間)						40箇所
191	駅の案内サイン等のマニュアル作成や外国人等に対するサービスの向上	ユニバーサルデザインに沿った統一的なサインマニュアルや障害者・高齢者・外国人観光旅客に対応するマニュアルを作成し、接客サービスの向上を図る。					利便性向上	交通局 高速鉄道部	
			マニュアルの作成						
			参加・利用者数(人/年間)						
192	地下鉄の日の取組	5月29日の地下鉄の日の取組として駅周辺でイベントを行い、集客に努める。					イベント	交通局 高速鉄道部	
			5万人増収増客月間の一環としての取組	地下鉄開業30周年記念の取組	通常取組				
			参加・利用者数(人/年間)						2000人

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

193	醍醐車庫見学会の実施	醍醐車庫を一般に公開する見学会を実施し、増客を図る。	毎年10月の鉄道の日近辺において実施				イベント	交通局 高速鉄道部
			参加・利用者数(人/年間)					
			1000人	1000人	1000人	1000人		
194	アートパフォーマンス山科の実施	月1回山科駅近辺の音の広場において、一般募集のパフォーマーによるイベントを実施し、増客を図る。	月1回実施				イベント	交通局 高速鉄道部
			参加・利用者数(人/年間)					
			1000人	1000人	1000人	1000人		
195	駅ナカビジネスの拡大	四条駅をはじめとした駅構内の配置を見直すことにより、活用可能な公共空間を最大限創出するとともに、民間のノウハウも活用して積極的に取組を展開する。	四条駅オープン烏丸御池駅等の事業者募集 駅構内でのサブウェイ・パフォーマー事業の開始	取組の推進			乗車券販売・広告収入等	交通局 企画課
			参加・利用者数(人/年間)					
			—	—	—	—		

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
196	施設見学会での市バス利用についての検討	夏休み親子下水道教室(年1回)及び「下水道の日」(9月10日)施設見学会を開催予定であり, 臨時バスの利用を検討する。	取組の推進				→	イベント 臨時バスの運行	上下水道局
			参加・利用者数(人/年間)						
			各30名程度(見込み) (参加者数)	各30名程度(見込み) (参加者数)	各30名程度(見込み) (参加者数)	各30名程度(見込み) (参加者数)			
197	蹴上浄水場一般公開, 鳥羽水環境保全センター一般公開	施設の公開等の際に市バス・地下鉄の利用をPR(チラシ等での案内)する。また, 鳥羽水環境保全センター一般公開の際は, 地下鉄の駅から市バスによる送迎を行うとともに, 施設内の循環バスについても市バスを運行する。	取組の推進				→	イベント 臨時バスの運行	上下水道局
			参加・利用者数(人/年間)						
			約40,000人 (来場者数)	40,000人程度 (来場者数)	40,000人程度 (来場者数)	40,000人程度 (来場者数)			
198	上下水道モニターへの謝礼	上下水道モニター事業の一環として, 意識調査(アンケート)やモニターレポートの提出に対する協力の謝礼として, トラフィカ京カードをお渡しする。	取組の推進				→	乗車券販売・広告収入等	上下水道局
			参加・利用者数(人/年間)						
			30 (上下水道モニター数)	30 (上下水道モニター予定数)	30 (上下水道モニター予定数)	30 (上下水道モニター予定数)			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

199	職員への市バス・地下鉄利用促進に向けた取組	上下水道局職員を対象に市バス・地下鉄利用の促進を周知・PRする。	取組の推進				→	職員等利用	上下水道局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
200	京都駅地下通路への自動販売機の設置	地下鉄京都駅の通路に、災害用備蓄飲料水「京の水道疏水物語」専用自動販売機を設置する(使用料収入)。	取組の推進				→	乗車券販売・広告収入等	上下水道局
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
201	地下鉄広告の活用	水道水のアピールなど、上下水道事業をPRするため、地下鉄駅構内及び車両を活用した広告事業を展開している(広告料収入)。	取組の推進				→	乗車券販売・広告収入等	上下水道局
			参加・利用者数(人/年間)						
			参加・利用者数(人/年間)	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

202	トラフィカ京カードによるPR	琵琶湖疏水竣工120周年及び下水道事業開始80周年等の上下水道事業をPRするトラフィカ京カードを作成する。					乗車券販売・広告収入等	上下水道局	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						—
203	所管施設におけるPR	営業所住所案内に最寄りの地下鉄駅・バス停から徒歩〇分といった記載をすることで、公共交通機関の利用を促進する。					広報・PR	上下水道局	
			取組の推進						
			参加・利用者数(人/年間)						—

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

番号	事業項目		年次計画				類型	担当局区	
	事業名	事業概要	22年度	23年度	24年度	25年度			
204	教育施設への来館者に対する公共交通機関の利用啓発	教育施設での各種講座等へ市民等の参加者に対し、来場の際には公共交通機関を利用いただくよう、参加案内チラシ等に記載するなど、市バス・地下鉄の利用促進を促す。	取組の推進				→	広報・PR	教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
205	「青少年科学センター」の取組等	青少年科学センターでは、展示場やプラネタリウム等を一般開放しており、特に集客の見込める夏休み等には無休開館するとともに、特別展示等を企画・実施している。 また、京都修学旅行パスポートやスルッとKANSAI3dayチケット等の提示で入場料を減免している。	取組の推進				→	イベント特典付与	教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)						
			約15万5千人 (年間入館者数)	約15万5千人 (年間入館者数)	約15万5千人 (年間入館者数)	約15万5千人 (年間入館者数)			
206	「地下鉄子ども文庫」の実施、図書返却ポストの設置	親子で自由に本を選んで持ち帰ることのできるリサイクル文庫を、ゼスト御池「河原町広場」に設置(毎年4月23日前後)。また、地下鉄市役所駅前等に、市図書館の図書返却ポストを設置(22年度に更に1箇所増設予定)	「地下鉄子ども文庫」を4月24日に実施。				→	施設の整備・誘致イベント	教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

207	コンサート・展覧会等の実施	地下鉄二条城前駅に隣接する京都市立京都堀川音楽高校(22年4月開校)の新校舎に設置する音楽ホールやギャラリー等の音楽・美術活動の中核施設において、コンサートや展覧会等を実施する(市民も利用可能)。22年度は京都堀川音楽高校の移転記念コンサートや、銅駝美術工芸高校創立130周年記念事業を実施する予定。	京都堀川音楽高校の移転コンサート, 銅駝美術工芸高校創立130周年記念事業を開催中。	取組の推進			→	イベント	教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			
208	教育委員会主催事業等における公共交通機関の利用促進	教育委員会主催事業等に参加する学校が、児童生徒の移動手段として、民間貸切バス等を利用しているものについて、可能なものから順次、市バス利用に切り替えていく。 ・小学生のための音楽鑑賞教室 ・青少年科学センター学習 ・生き方探究館での学習 など	取組の推進				→	臨時バスの運行	教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)						
			約6万5千人(例示3事業の総参加人数)	約6万5千人(例示3事業の総参加人数)	約6万5千人(例示3事業の総参加人数)	約6万5千人(例示3事業の総参加人数)			
209	審議会委員やボランティア活動謝礼<新規>	教育委員会所管の各種審議会や各市立学校・幼稚園、教育施設等でのボランティア活動に対する謝礼について、可能なものから、「トラフィカ京カード」に切り替えていく。	取組の推進				→	乗車券販売・広告収入等	教育委員会
			参加・利用者数(人/年間)						
			—	—	—	—			

京都市地下鉄5万人増客アクションプログラム(上半期)

210	家庭教育新聞「あしたのために」懸賞 ＜新規＞	全市立幼稚園、小・中・高・総合支援学校の保護者を対象に配布する家庭教育新聞「あしたのために」(年6回発行。各号17万部)における応募の懸賞を図書カードから「トラフィカ京カード」(1000円相当)とする。					乗車券販売・広告収入等	教育委員会
			懸賞として「トラフィカ京カード」の発行					
			参加・利用者数(人/年間)					
			120名 (年間懸賞数) (年6回×20名)	120名 (年間懸賞数) (年6回×20名)	120名 (年間懸賞数) (年6回×20名)	120名 (年間懸賞数) (年6回×20名)		